

活 用 事 例	浜松市立三ヶ日西小学校	菊地寛教諭
活用事例タイトル	よりよい音読にしよう	
対象授業科目/活動	国語科「白い帽子」	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など)	ねらい 物の行動や心情,場面の様子 などがよく分かるように工夫し て,音読をすることができる 時期 平成25年4月 単元名 白いぼうし 対象 小学校4年 25人 ICT 使用 学習前に、タブレット端末を用いて、グループの音読を録画を子どもたちがする。単元の学習では、叙述に即して様子や登場人物の気持ちをグループで考えながら学級全体で共有する。学習しながら、子供たちはより深く内容を理解していく。そして、学習中や学後にも、自分たちの音読を撮影し、比較する。	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	①学習前後での音読の変化を子供たち自身たちが評価する。 自分たちで、学習したことがどのように活かされたのか、成長できのかを視覚的に確認でき、自尊感情を高めることができる。 ②学習中に視聴することで、よりよく改善ができる。 自分たちの音読を録画することで、自分たち音読の仕方考えたことがどう音読されているのか、視聴することで自分自身で理解することができる。しかも、よりよくしようと改善することもできる。	
評価、振り返り(活動の評価や児童・生徒の声など)	音読の視点を与えることで、それと自分たちが録画した音読とを比較し、自己評価が可能になった。それにより、今まで以上に気持ちを込めて、様子を創造しながら音読する子が多くなった。	

